

委員会等の会議録

1 会議名	令和7年度愛南町自殺対策検討委員会	
2 議題	(1) 自殺対策計画推進状況報告 (2) 令和7年度の取組について (3) その他	
3 開催日時	令和8年2月13日(金) 15時00分から16時00分まで	
4 開催場所	城辺保健福祉センター 創造交流室	
5 傍聴者数	1人	
出席者		
6 委員氏名	長野 敏宏、猪野 ユカリ、石川 晴信、山口 憲昭、 埜下 浩孝、村上 みどり、久保 可苗、倉野 豊成 (欠席)清家 康之、伊井 まゆみ	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 荒地 ミドリ、長田 亜紀 保健師 藤田 夏海、宮下 龍
8 その他の 出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
中川課長	(開会挨拶)
荒地課長補佐	<p>本会議の協議内容につきましては、要綱に基づきホームページで公開させていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>では、協議事項に入ります。</p> <p>協議事項(1)、(2)について事務局から説明します。</p>
宮下保健師 長田課長補佐	((1)「自殺対策計画推進状況報告」及び(2)「令和7年度の取組」について説明)
荒地課長補佐	事務局から説明のあった計画の推進状況及び令和8年度の取組につきまして、御意見等質問はありませんか。
長野委員	<p>ここ数年、4年ですか、着実に現場で文化が変わってきているのが感じられて、敬意を表します。</p> <p>本当に地道にやられていて、特に高校など学校に入ったことが大きいと思います。高校の先生も非常に熱心ですし、明らかに一辺倒だったのが、優しくなってきたなということと、つながってくる方が非常に多くなってきたと現場で感じています。</p> <p>もちろんゴールはまだまだ遠いですが、この取組がずっと続いていくと、大人になっていく中で社会の在り方が変わっていくのではないかなと思っています。引き続き続けていけたらと思っています。</p> <p>私も、この1年間生活が随分変わって、年間300人ぐらいの初診の方と出会いました。</p> <p>もちろん、愛南町だけではないですが、随分傾向が変わっています。その中で典型的な統合失調症の方で記憶にあるのは、300人の内一人です。</p> <p>典型的な鬱病と診断できるような方も一人です。ほとんどが何らかの生活環境、仕事の環境から大きなストレスを受けて、メンタルのバランスを崩している方です。</p> <p>この対策の中で、視点を深めなければいけないと思うものもあります。高齢者については、介護保険も含めて随分丁寧に入るようになってきてますし、ゴールはまだ遠いですが生活困窮に関する取組も進んでるので、子供については、発達障害のと</p>

発言者	発言内容
	<p>ころも含めて丁寧に、着実に進んでいる印象があるのですが、勤務経営対策のところはやはり弱い、一番危ないと思います。</p> <p>例えばストレスチェックが入っていますが、ほぼ形骸化しています。</p> <p>ストレスチェックで上がったものが、相談につながっているかどうかとても不安です。幾つかの契約をしていますけど、ここまで到達される方はまずいないです。</p> <p>後は、ありとあらゆる企業経営や行政経営、病院経営などが厳しくなり過ぎていて、全くゆとりがなくなってるのをひしひしと感じます。</p> <p>そのため、一人にしっかりと休んでいただくことができなくなってきています。その対策としても非常に弱くなっています。</p> <p>一番心配なのは、いろいろな所の相談を受けていますが、様々な行政機関の職員に、余りにも負担が掛かっていないでしょうか。</p> <p>休みが取れておらず、お正月も含めて、1年のうち二日か三日の休みなど、想像を絶するようなお話をたくさん聞くようになっていきます。</p> <p>企業も経営的に追い詰められてくると、休みをちゃんと取ってもらえなかったり、無理をしてでも(出勤する)となってくると、退職も視野に入れなければならず、そういうところで、ちゃんと治療が受けられない方に、毎週毎週遭遇する感じです。</p> <p>自殺対策でも企業への取組は、一番難しく、一番地道にしていかなければいけないことだと思っています。行政機関自らもそうですし、町内の様々な企業もそうですし、例外はもうないと思います。</p> <p>中小企業は大変だという時代はもう終わってると思っています、その対策に関して、地道な取組を具体的に進めていくこと、今までしている、予算や高齢者に関するノウハウが十分に使えると思います。</p> <p>ここをしっかりと進めながら社会の在り方を問うていかないと、小手先のことで通用しないという現状が見えています。</p> <p>あまりに深刻だなと思いますので、是非ここを具体的に進めていただけたらと思っています。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>企業が大事だと言われたので、商工会の埜下委員から、御意</p>

発言者	発言内容
<p>埜下委員</p>	<p>見いただいてもいいですか。</p> <p>立場でも全然違うし、その人その人の生活にもよると思います。実際に人員が少なく、すごい忙しいということは聞いてます。たまたまこの間対応した件があったのですが、まだあまり仕事を理解できていないうちに現場に出て、不安になってしまう面があるのではないかと思います。</p> <p>その時は、その子ではなく、委託した業者の対応が悪かったので、これではいけないと注意をしたのですが、そのときにも、気が弱い子ならいけないと思って、あまり強くは言えず、上の人に報告をして対応してもらいました。</p> <p>本来なら、1年程度でも上の人と一緒に対応して仕事を覚えていたら良いですが、なかなか難しい面もあるので、これから少しずつ動いていったら良いのではということはいいました。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。ほかに意見のある方はありますか。</p> <p>保健所の猪野委員、保健所の自殺対策は県もされていると思いますが、意見をいただけますか。</p>
<p>猪野委員</p>	<p>愛南町の強みを生かして、この現状に対して自殺対策をするということが非常に喫緊の課題であると思います。</p> <p>長野委員も先ほど言われたことですが、まず人口が少ないということは、関係機関それぞれが近い環境にあるということで、相談しやすいとか、行政から民間まで、ここにいらっしゃる方はきっと顔なじみの方ばかりではないかと思うのですが、そういった中で、自治体、精神科の診療所が一つ、そして公立病院があるというこの存在が非常に、自殺対策には強みであると思います。</p> <p>長野委員が言われた働く世代へのアプローチの仕方ですが、一つ、ゲートキーパーの育成です。自治体、役場の職員というのは、きっといろいろなところに入って、いろいろな企画をたくさんして、旗振り役になることもありますし、異動もあるので、担当のときには少しセンチメンタルなことを勉強したとしても、違う係に行ったら全然違うことをされるので、是非このゲートキーパーの養成講座のような基本的なことは、全職員が受講されて、来庁者の相談を受け入れる、そしてまた自分自身</p>

発言者	発言内容
	<p>も、職場環境も含めてメンタルケアができるというのが、非常に良いのかなと思います。</p> <p>それともう1点ですね。高齢者対策非常にされておりますが、孤立というものがどの年齢層も問題で、配付されたプロフィールでも、上位5位までに新しいデータ、「独居」ということが書いてあります。孤立ということは、子供、大人、高齢者も含め、自分のことも重く思うなど、メンタル面の不調がいろいろと起こりやすいので、その辺りのケアが少し入ったら良いかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>よく協力していただく警察からもお話を伺えますか。</p>
石川委員	<p>愛南警察署の石川です。</p> <p>自殺事案で警察が主に対応することといえば、他者の介在がないか、事件性の有無になるかと思います。その後の生活の支援となると、若干テリトリー外と思いがちですけども、愛南に着任して2年経ち、町や地方局で開催される会議に出席し、担当職員の方がきめ細やかに対策を取り、いろいろなことをされてることを知りました。これを愛南警察署、全署員に展開することが私の役目なのかなと思っています。</p> <p>それによって、警察での取扱い、交通事故から職務質問まで、そういった自殺の予兆に関するものがあれば、情報を集約して行政機関に提供することができます。そうすることが、警察官が事件性の有無だけに限らずできることなのかなと感じています。</p> <p>引き続き、関係機関と連携を強めて対応したいと思っています。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>地域に根づいて活動されている民生委員の山口委員、一言いただいでいいですか。</p>
山口委員	<p>はい、愛南町民協としては、毎年、独居の高齢者の訪問を、各地域で行っていますが、いろいろな方がおられまして、もう二度と来ると言われる方もいますが、地域の人と一緒に緩やか</p>

発言者	発言内容
	<p>に見守りができたらと考えてます。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>健康推進員の村上委員からもいいですか。</p>
村上委員	<p>今年初めて健康推進員をさせていただきました。</p> <p>連合会の介護協会で、いろいろなことで地域の方とつながり合っていたなと思っています。今日はこの自殺というところに選ばれてたので、すごく勉強になるというか、地域の方で一生懸命しているのだなと痛感しました。</p> <p>以前高齢者の仕事をした時には、いろいろな家族の実態などはよく見えたのですが、現役を離れて、私自身が高齢者としてひきこもりになっていくのではないかなと思って、できるだけ外へ出ていきたいとは思っています。</p> <p>今日この勉強会は大変参考になります。答えが出ませんが、すいません。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>顔の見える関係で皆様と連携していけたら良いなと思っています。町も頑張っていきたいと思えます。</p> <p>先ほども少し説明しましたが、自殺対策計画の見直しの時期を健康増進計画と一体的にするということで、1年間延長し、令和8年度の見直しを令和9年度にさせていただきたいと思っています。</p> <p>今の計画は、令和8年度も継続していく予定にはなっているのですが、それについて了解いただいたらと思うのですが、御了解いただける方は挙手をお願いします。</p>
委員一同	<p>(挙手)</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>計画は1年延長させていただきたいと思えます。</p> <p>続きまして、協議事項(3)その他なのですが、その他何かありませんか。大丈夫でしょうか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>

発言者	発言内容
荒地課長補佐	<p>以上で本日の協議は全て終了しました。</p> <p>熱心に御協議いただいて、それぞれのところで取り組めるところに取り組み、連携して、進めていただけたらと思いますので、皆様の一層の御協力をお願いします。</p> <p>以上をもちまして、令和7年度愛南町自殺対策検討委員会を終了します。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>